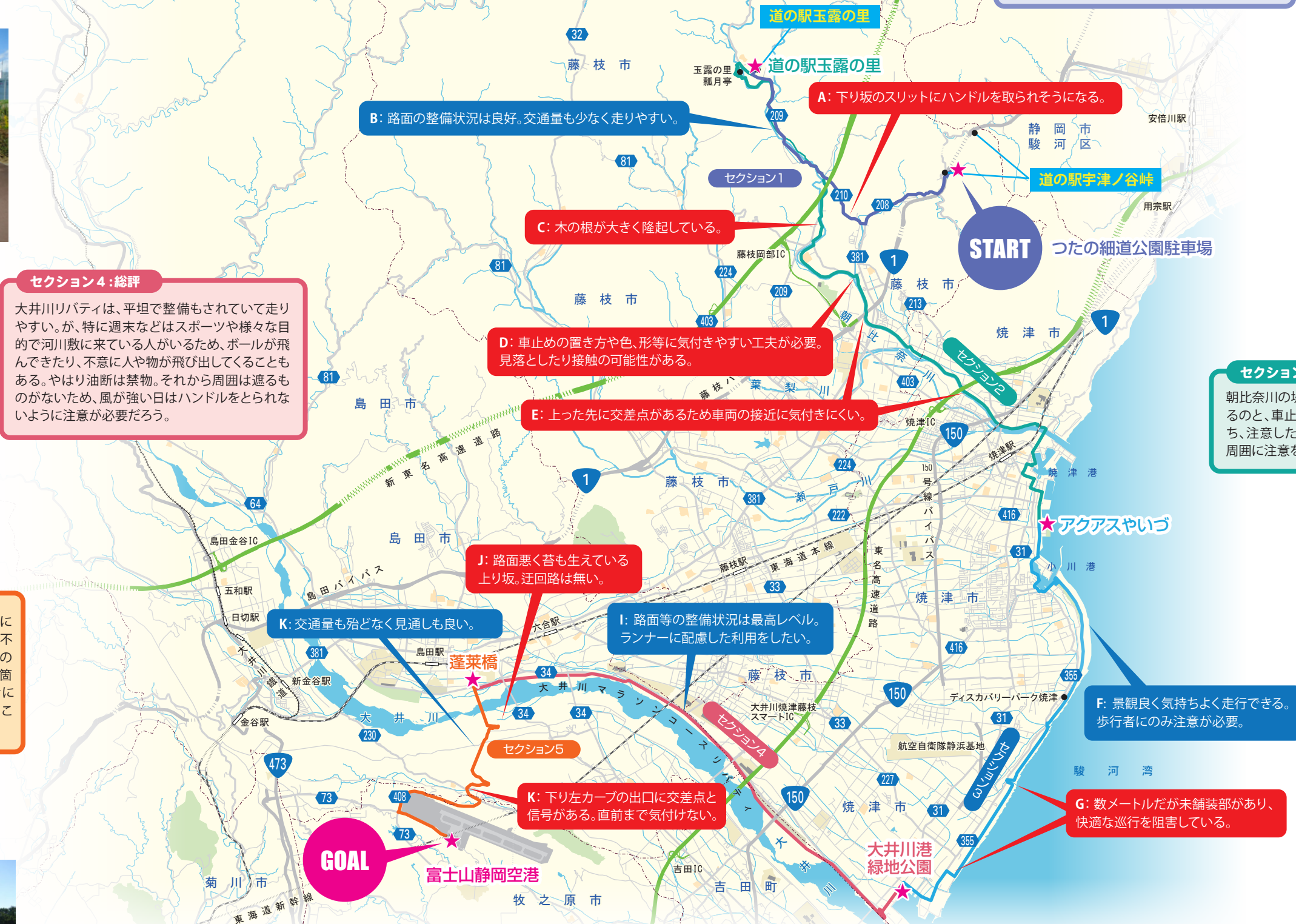


# 道路状況と交通

本調査コースにおける道路状況と交通に関しては、部分的な路面の荒れや車止めなどへの注意の声があがったものの、コース全般において路面の状態は良好な部分が多くて走りやすいといえる。ヒアリングでは路面状況の細部に指摘もあったが、特別な大きな危険や注意を要する箇所は少ないといってよいだろう。ただし、逆に堤防や河川敷などは、注意箇所が少なく走りやすいことが仇となり、サイクリストの気の緩みを生みやすい側面もある。その点が、実は一番気を付けておかねばならないことだろう。



**セクション5:総評**  
蓬萊橋を渡った先は、急な上り坂であるうえに路面に苔がむして滑りやすくなっている。不安な場合は無理して乗らないようにしたい。その後、茶畑の丘を過ぎて、下り坂をくだりきった箇所に信号機があるが、これの存在に気が付きにくい。下りでスピードが乗っていたらなおさら。この2点は要注意箇所である。



**セクション1:総評**  
わずかな部分に路面への注意が必要な箇所があるが、区間全体の印象としては、交通量が少なく、路面状況も概ね良く、走りやすいという声が多かった。信号や交差点も少ないので、気持ち良くスピードに乗ってペダルを回していける。



**セクション2:総評**  
朝比奈川の堤防を進む区間。路面の荒れた箇所がややあるのと、車止めの設置状況に注文をつける声がやや目立ち、注意したい。県道を何度か横切る(横断する)際には周囲に注意を払いたい。



**セクション3:総評**  
平坦な海辺の防波堤上を進む区間。車は入ってこられず、歩行者も少なく、危険を感じる部分は少なく走りやすいといえる。ただ、歩行者が少ないとはいえ、犬を放して怖かったなどの声もあり、気が緩んで景色に見とれすぎたり、仲間と会話に夢中になりすぎたりして、注意が散漫にならないように気をつけたい。

**H:** リバティのスタート地点を示す標識等はない。

**F:** 景観良く気持ちよく走行できる。歩行者にのみ注意が必要。

**G:** 数メートルだが未舗装部があり、快適な巡行を阻害している。

**D:** 車止めの置き方や色、形等に気付きやすい工夫が必要。見落としや接触の可能性はある。

**E:** 上った先に交差点があるため車両の接近に気が付きにくい。

**J:** 路面悪く苔も生えている上り坂。迂回路は無い。

**K:** 交通量も殆どなく見通しも良い。

**I:** 路面等の整備状況は最高レベル。ランナーに配慮した利用をしたい。

**K:** 下り左カーブの出口に交差点と信号がある。直前まで気付けない。

**B:** 路面の整備状況は良好。交通量も少なく走りやすい。

**C:** 木の根が大きく隆起している。

**A:** 下り坂のスリットにハンドルを取られそうになる。

**セクション4:総評**  
大井川リパティは、平坦で整備もされていて走りやすい。が、特に週末などはスポーツや様々な目的で河川敷に来ている人がいるため、ボールが飛んできたり、不意に人や物が飛び出してくることもある。やはり油断は禁物。それから周囲は遮るものがないため、風が強い日はハンドルをとられないように注意が必要だろう。